（C）日刊スポーツ新聞社

2014.7.23→2020.7.24

毎週水曜日連載
NIKKAN SPORTS SPECIAL

4回特集 ニッポン金「御四家」の指導者論 第2弾「選手との距離感」

リオまで3年の戦い

16年8月リオ五輪での練習で萩野（左）を指導する平井氏

幼少期からずば抜けた存在だったからか、萩野は人に対して慶を割らず、本音を言わない傾向が強かった。人間嫌いを言いたいこともある。家族のように言い合う関係とは、ほど遠かった。平井HCは「何のためにコーチがいるのか。不安があれば素直に言え」と何度も諭したが、性格は簡単に直らない。13年世界選手権、14年世界短水路選手権では潮戸に金メダルを奪われた。本人は疲労、不調を敗因にしたが、平井HCの見方は違った。

平井HC　気持ちの弱さをごまかして、体調のせいにしていた。

15年夏には右肩骨折のアクシデントもあったが、直後に東洋大の主将に抜擢される。監督と主将、必然と会話をする機会を増やす作戦だった。年が明け、五輪前の2月間の合宿では、寝食を共にし、時には約束にも出掛けた。

平井HC　厳しいことを言ってばかりだったから、一緒に食事をしていても、話し掛けてくることは少なかったが、だんだんと積極的に自分のことを話し始めた。気を許すようになったなと思ったら、くるっとんで、ツーカーで話せるようになった。

3年以上かけて、萩野が閉ざされた心をこじあけ、家族のような関係を築き上げた。

五輪金メダル獲得後、萩野は言った。「平井先生に金メダルをかけてあげたかったんです。ごろっと負けることがあったと、平井HCに言ってしまったが、この試合は4年に一度の大舞台で力を発揮できない。

平井HC　北島はもちろん、一流選手は土壇場でもピリピリせず、心に余裕がある。土壇場で勝つのは人間力のある人。

東洋大主将抜擢 会話増やす作戦

心を閉ざした怪物と

13年5月本紙インタビューで萩野（右）と握手を交わす平井氏

コーチと仲良く ライバルを把握

以来、国際大会などでは積極的に海外のコーチと接触するようになった。

平井HC　コーチと仲良くして、ライバル選手の情報を得る。ずうずうしく自分から話し掛けるの。リサーチしているうちに、その選手の性格も分かってくる。

ライバルの戦術を把握する一方で、教えずともお強固な関係を築き、前哨戦の金メダルに挑む。

平井HC　指導法はオンパシー。互いに言い合う。結び付きが強ければ、危機に陥っても立て直すことができる。

北島は中学2年から指導してきたことがあり、農密な関係を醸成できた。だが、東洋大入学から指導を始めた萩野に関しては、一筋縄ではいかなかった。

競泳金5導く

◆平井康生（ひらい・やすなり）1963年（昭38）5月31日、東京・駒込生まれ。早稲田中・高を経て早大に進学。在学中に選手からヘッドコーチに転向。卒業後に東京スイミングセンターに入社。96年から平井後の北島康介を指導し、04年アテネ、08年北京で五輪金メダル2冠に導く。昨年引退するまで、ジャパンオリンピックセンターでは男子400メートル個人メドレーで萩野公介を金メダルに、他にも中村礼子、寺川綾、鈴木律美らメダリストを輩出。13年4月から東洋大監督。15年6月から日本水連競泳委員長。

幼少時代から厳なしで怪童といわれた萩野。練習では誰よりも強く、圧倒的なタイムも持つ。その半面、いざ本番になると、ライバル陣に対して弱気になったり、ころっと負けることがあった。平井HCは、このままでは4年に一度の大舞台で力を発揮できない。

転機はシドニー 北島4位で「恥」

13年5月萩野（左）と言葉を交わす平井氏

「不安があれば言え」

練習前のプールサイドは、家族たちらの雰囲気が漂う。平井HCは、選手たちと雑談でコミュニケーションを図る。「昨日のご飯は何を食べた？」「こんな面白いテレビ番組があった？」「男はついいよ」の寅さんが好きなんだ」と、水泳以外のわいわいな話で盛り上がる。自宅のリビングで親子、兄弟がよくするような会話。選手たちの笑顔は絶えない。

平井HC　私はこんな人間なんだと、自分自身を全部さらけ出している。選手によって、段階はあるが、最終的には何でも言い合えるようになっている。

平井HC　選手と仲良くなったり、ライバル選手の情報を得る。ずうずうしく自分から話し掛けるの。リサーチしているうちに、その選手の性格も分かってくる。

平井HC　指導法はオンパシー。互いに言い合う。結び付きが強ければ、危機に陥っても立て直すことができる。

北島は中学2年から指導してきたことがあり、農密な関係を醸成できた。だが、東洋大入学から指導を始めた萩野に関しては、一筋縄ではいかなかった。

競泳金5導く

◆平井康生（ひらい・やすなり）1963年（昭38）5月31日、東京・駒込生まれ。早稲田中・高を経て早大に進学。在学中に選手からヘッドコーチに転向。卒業後に東京スイミングセンターに入社。96年から平井後の北島康介を指導し、04年アテネ、08年北京で五輪金メダル2冠に導く。昨年引退するまで、ジャパンオリンピックセンターでは男子400メートル個人メドレーで萩野公介を金メダルに、他にも中村礼子、寺川綾、鈴木律美らメダリストを輩出。13年4月から日本水連競泳委員長。

幼少時代から厳なしで怪童といわれた萩野。練習では誰よりも強く、圧倒的なタイムも持つ。その半面、いざ本番になると、ライバル陣に対して弱気になったり、ころっと負けることがあった。平井HCは、このままでは4年に一度の大舞台で力を発揮できない。

「人間対人間指導」「人間嫌い」「人間力」

平井VS北島

「人間対人間指導」「人間嫌い」「人間力」

平井VS北島

競泳は柔道、レスリング、体操に続き、五輪では過去22個の金メダルを量産している。その中で、選手15個の金メダルをたらしたのが、日本水連（HC）、指導法は選手とコーチの立場を超え、人間対人間の付き合いを重視する。北島康介氏（34）、萩野公介（22）の金メダリスト2人とは、家族のような信頼関係を築き、一心同体となって世界の頂点を勝ち取った。

対人間、コーチを演じているわけではない。

選手と一緒に食事をしていても、話し掛けてくることは少なかったが、だんだんと積極的に自分のことを話し始めた。気を許すようになったなと思ったら、くるっとんで、ツーカーで話せるようになった。

3年以上かけて、萩野が閉ざされた心をこじあけ、家族のような関係を築き上げた。

五輪金メダル獲得後、萩野は言った。「平井先生に金メダルをかけてあげたかったんです。ごろっと負けることがあったと、平井HCに言ってしまったが、この試合は4年に一度の大舞台で力を発揮できない。

平井HC　北島はもちろん、一流選手は土壇場でもピリピリせず、心に余裕がある。土壇場で勝つのは人間力のある人。

「人間対人間指導」「人間嫌い」「人間力」

平井VS北島

「人間対人間指導」「人間嫌い」「人間力」

平井VS北島

「人間対人間指導」「人間嫌い」「人間力」

平井VS北島

柔道 井上康生監督 「～ッス」NG

柔道男子日本代表の井上康生監督（38）は、選手の意識改革を主に生活面まで言及した。選手には「柔道選手の前に人として当たり前のことができない人間は、自身をマネジメントできない」と伝えた。

34歳で代表監督に就任。選手の中には同世代の親しい間柄もいたが、なあなあになると危惧して指導者と選手との線引きをした。選手は指導者へ「○先生」「○さん」という敬称を必ずつけ、返答で「ッス」はNG。ゴツイ体形が多い選手に「身だしなみにも気を配ろう」と助言した。「周りからどう見られているかを意識することで己を律して、代表としての責任と自覚が生まれる。こういう細かいことまでできない人間の頂点に立つ選手にはなれない」と説明した。

体操 水鳥寿思監督 1歩引き大人扱い

日本体操協会の水鳥寿思男子強化本部長（36）は、1歩引いた位置から選手を見る。「年齢は近いですけど」と笑いながらも「選手はそれぞれが大人だし、所属のコーチもいたので」と近すぎない距離を保っていたことを口にした。「基本的には自分で考え、実行できないと勝てないから」。選手の自主性を信じ、尊重したからこそ、12年ぶりの団体金メダルがとれた。

選手への指導は独特だ。所属のコーチは自分より1歩上。それぞれ優秀な指導者だった。代表選手を直接指導するのではなく、各所属を回ってコーチと話をした。「1対1で話しながら選手の情報をもらい、逆に気がついたことを話して選手に言ってもらった」。もちろん選手とも話すが、直接指導は担当コーチに任せていた。大人扱いした選手と担当コーチがやりやすいように、チームのマネジメントに徹した。

レスリング 栄和人総監督 私生活すべて見る

日本レスリング協会の栄和人強化本部長（56）と監督として直接指導する至学館大レスリング部員の距離は驚くほど近い。至学館高の体育教諭として赴任した時はレスリング部員を自らが鍛えたりしたマンションに住まわせ、常に見られる状態にした。高校にも練習場にも、自分が運転する車に乗せて送り迎えした。「練習だけでなく、私生活もすべて見る」が指導哲学。「熱血先生」そのものだ。

「選手と距離があったらダメ。指導はできない」と話す。吉田沙保里や伊調馨はもちろん、リオ五輪で金メダルに輝いた登坂絵莉、川井梨紗子、土性沙羅も、栄氏の教えず。肩車してのウイニングランや投げられるパフォーマンスは、師弟関係が濃密な証拠だ。常に一緒に行動するからこその信頼関係。「とにかく練習は厳しい。だからこそ、練習以外の部分が大切り」。同監督はそう話している。

「～ッス」NG

柔道男子日本代表の井上康生監督（38）は、選手の意識改革を主に生活面まで言及した。選手には「柔道選手の前に人として当たり前のことができない人間は、自身をマネジメントできない」と伝えた。

34歳で代表監督に就任。選手の中には同世代の親しい間柄もいたが、なあなあになると危惧して指導者と選手との線引きをした。選手は指導者へ「○先生」「○さん」という敬称を必ずつけ、返答で「ッス」はNG。ゴツイ体形が多い選手に「身だしなみにも気を配ろう」と助言した。「周りからどう見られているかを意識することで己を律して、代表としての責任と自覚が生まれる。こういう細かいことまでできない人間の頂点に立つ選手にはなれない」と説明した。

「対応」十「相手の気持ち」

東京オリンピック特集

04年アテネ以降メダル量産

◆日本競泳の五輪金◆

数	種目	選手名	年
【アテネ】ユーロパ			
男200バタ	鶴田	義行	04
【北京】サンタモニカ			
男100自	二宮	康平	08
男200自	松田	正義	08
男100背	清水	正輝	08
男200背	入江	陵介	08
男800自	遊佐	正憲	08
	横山	隆志	08
【ロンドン】ウェストモンロー			
男1500自	寺井	登	12
男200平	鵜飼	康二	12
男200個	佐藤	翔	12
	田邊	正義	12
	前畑	秀子	12
女200平			
【リオ】ルネサンス			
男200バタ	康井	勝	16
【リオ】ミュンヘン			
男100平	田口	信教	16
女100バタ	青木	まゆみ	16
【リオ】ソウル			
男200背	鈴木	大地	16
【リオ】ベルセロナ			
女200平	岩崎	恭子	16
【リオ】アテネ			
男100平	北島	康介	04
男200平	北島	康介	08
女800自	柴田	亜衣	08
【リオ】北京			
男100平	北島	康介	08
男200平	北島	康介	08
【リオ】リオデジャネイロ			
男400個メ	萩野	公介	16
女200バタ	金藤	理絵	16

（注）○数字は獲得時年齢

水泳王国復活

働きかける「心づかい」

元ANAチーフCAが綴る 江口すず先生 おもてなし講座 4

第3回までは「あいさつ」のマナーや、第1印象をよくする5原則などについてお話しました。CAはよく、「金太郎あめにならなさい」と指導されます。どこを切っても笑顔が出てくる金太郎あめの度を保ちたいという教えです。「ポンテンティ」も同じです。お客様がどこでも同じようなおもてなしを受けられるよう、一律にその基本を身につけること。レスリング、体操に続き、柔道は柔術に対応することが大切です。でも、それだけでは「真のおもてなし」はできません。

相手がどんな表情で、どういう態度をしているのかを観察し、柔軟に対応することが大切。「対応」十「相手の気持ち」。

CA時代にこんな経験があります。飛行中、肩まで毛布をかぶり、青白い顔で震えているお客様から毛布をもう一枚下さい」とリクエストされたとき、その言葉通りにいったときに「ご一緒に何かお飲み物はいかがですか？」と、相手の気持ちに寄り添ったプラスアルファの言葉かけらいで心地よくなれるかについて頭を働かせていったときに「ご一緒に何か温かいお飲み物はいかがですもてなし」ができたにいえまお客様から呼ばれて初めて「何かご用でしょうか？」と足を運ぶのではなく、呼ばれるのお客様が本当に求めていることと、つまり「どうすれば喜ぶか」を考えて動くことが大切です。でも、それだけでは「真のおもてなし」はできません。

相手がどんな表情で、どういう態度をしているのかを観察し、柔軟に対応すること